

Ⅲ. 前置詞と前置詞句

1. 前置詞は名詞句の前に置かれる

前置詞は名詞句の前に置かれるものです(ただし to 不定詞の to は動詞の前にあります)。日本語の助詞、「の、で、に、を、と、から」などは、英語の前置詞と似たような働きをしますが、名詞の後に置かれるので後置詞であると言えます。

2. 「前置詞＋名詞句」で前置詞句（副詞句あるいは形容詞句）となる

前章で述べた名詞句に前置詞が付いて前置詞句ができます。前置詞句は、副詞あるいは形容詞として働き、それぞれ副詞句、形容詞句と呼ばれます。もはや名詞ではないので、主語や目的語になりません。形容詞句が補語になることは、あります。

前置詞句は、文の主要素になるのは稀であるので、[] で囲んでしまうと英文が見易くなります。区別のために、形容詞句の場合は []^a のように、右肩に「a」(adjective: 形容詞) を付けることにします。



ここ大事です (3)

なっとく! スタンプ

- ・名詞句に前置詞が付いて前置詞句になると、もはや名詞ではなく、副詞句あるいは形容詞句

3. 副詞・副詞句は名詞以外を修飾する

副詞・副詞句は、名詞以外（多くの場合、動詞）を修飾します。

「桜島でのドライブ」 文脈開始

This car runs fast.
走る 速く

I bought it [at the shop].
買った その店で

I want to go [to Sakurajima] [with my girlfriend].
行きたい 桜島へ 彼女と

文のイントロ(文全体にかかる)

[On Sakurajima] we can drive [around the mountain].
桜島では ドライブできる 山を回って

We can't go [up the mountain] higher [than the observatory].
行けない 山を登って より高く 観測所よりも

副詞を修飾している例

文脈終わり



ここでは、修飾関係を矢印で示していますが、副詞・副詞句は、その意味（和訳）さえ分かれば、修飾関係を特に考えなくても英文を理解できるので、通常、矢印は不要です。矢印は、英文から目が逸れてしまうという欠点があります。英文に集中するためには、矢印は無い方が良いでしょう。

副詞・副詞句は
意味がわかればいいんだ



4. 形容詞・形容詞句は名詞を修飾（あるいは説明）する

形容詞・形容詞句の一般的な用法である限定用法では名詞を修飾します（「限定」とは、名詞がどのようなものなのか、よりはっきりさせるという意味）。それに対して、形容詞・形容詞句が文の補語(C)となる叙述用法では名詞について説明します。

限定用法の形容詞は、日本語と同様、名詞の前に置かれて「形容詞＋名詞」となります。ところが複数の語から成る形容詞句は、名詞に後からひっついて「名詞＋形容詞句」となります。これを後置修飾といいます。後置修飾は、日本語と語順が逆なので、「返り読み」から脱却するためには、音読しで慣れることが必須です。

「与次郎の中古車店とモール」文脈開始

This is a fast car.
速い 車

【形容詞の限定用法】
日本語と同じ語順

When it was new, it was very expensive.
新しかった とても 高かった

【形容詞の叙述用法】
補語(C) になっている

It is [in good condition]^a.
良い状態に (ある)

【形容詞句の叙述用法】
補語(C) になっている

It has seats [of genuine leather]^a.
シート 本革の

【以下、形容詞句の限定用法】
日本語と語順が逆

I bought it [at a used-car shop] [in Yojiro]^a.
中古車店で 与次郎の

直前の、副詞句の中の名詞を修飾

Frespo [in Yojiro]^a is a mall [with many shops]^a [of various kinds]^a.
フレスポ 与次郎の モール 多くの店がある 様々な種類の

直前の形容詞句の中の名詞を修飾

There is a store [of 100-yen items]^a [with large floor space]^{-a}.
店 100円商品の 広いスペースを持つ

離れた名詞の修飾を「-a」で示すことができる

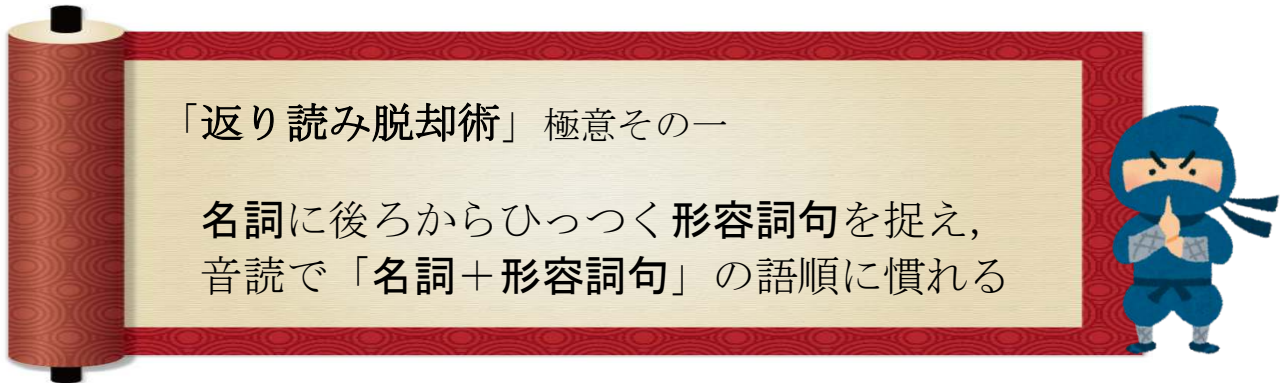
文脈終わり

ここでも修飾関係を矢印で示していますが、[] の右肩に「a」が付いていれば直前の名詞を修飾していることがわかるので、通常は矢印は不要です。形容詞句が、稀に、少し離れた名詞を修飾することがありますが、「-a」を使って示すことも可能です。

実は、英語は前置詞が特に発達した言語です。辞書に掲載されている前置詞は 50 を越え、英文中に前置詞句が頻出します。[], []^a で前置詞句の役割を示し、さらにチャンク訳（部分和訳）で補うことによって、英文を英語として理解することがし易くなります。その時、[] であれば意味がわかればよく、[]^a であれば直前の名詞にひつついた感じで捉えるということです。

「返り読み脱却術」 極意その一

名詞に後ろからひつつく形容詞句を捉え、音読で「名詞＋形容詞句」の語順に慣れる



これが英語を英語として理解する第一歩です。

5. 副詞句なのか形容詞句なのかは意味で判断する

名詞の直後の前置詞句であっても副詞句の場合があります。副詞句なのか形容詞句なのかは、意味で判断します。直前の名詞を限定する（どのようなものなのか、よりはっきりさせる）ような訳で理解できれば、形容詞句と考えてよいでしょう。

I like coffee [with milk]^a

コーヒー ミルク入りの

どういうコーヒーか、はっきりさせている

I had strong coffee [with Tom].

飲んだ トムと

「トムと共にあるコーヒー」では、おかしい

形容詞句の和訳は、その後に名詞がくるので「～の、～のための、～にある、～を持つ、～でできた」などのようになります。

